



佐野短期大学学報

# か た く り



ACCREDITED  
2005

発行/佐野短期大学

栃木県佐野市高萩町973

電話 (0283) 21-1200

## 迎春



Bクラス テーマ「Smile」

尾花千絵子/金子 結/金原知美/後藤静香



Aクラス テーマ「未来へ～冷静と情熱の世界～」

臼井今美/大島奈穂美/大槻美由紀/大貫友里恵



Dクラス テーマ「思い出」

永沼千恵美/日露真由美/増淵ゆかり/山中美穂/船山里実



Cクラス テーマ「涙」

鈴木佐衣子/土澤友美/仲江川祐香/永嶋美乃

## 年 頭 の ご 挨拶



### 志有る者は事<sup>こと</sup>竟<sup>つひ</sup>に成る

理事長 浦田 奨

新年あけましておめでとうございます。皆様には清々しい気持ちで新しい年をお迎えになられたことと思います。

元日の日の出を拝しながら、今年一年が平和・安泰の年となることを祈りました。

昨年一年間を振り返ると、政治、経済、教育、社会生活のいずれを見ても混迷の中にあり、その主な要因を見ると心の荒廃・倫理観・道徳観の喪失によるもので、なかなかその脱却の糸口さえ見えてきません。また、少子高齢化に伴う社会構造の変化や高度情報化社会の到来によりグローバル化の進展は、あらゆる分野において大きな変革を求めています。教育界においても時代の変化に対応すべく、一昨年の12月教育基本法が半世紀ぶりの改正、ならびに教育三法の制定により、戦後の教育行政の改革が行われたのも時代の変化への対応の現れであります。特に、今回の教育基本法の改正で大変画期的なことは、私立学校の果たしてきた役割を国が高く評価し、私立学校振興の条文が盛り込まれたことでもあります。公教育の一端を担う責任を重く受け止め身の引き締まる思いであります。

本学園は今年で学園創設45年目を迎え、幼・小・中・高・大を有する総合学園として発展してまいりました。特に、佐野短期大学は開学以来「想う人」「考える人」「行う人」を校訓に「自分の頭で考えさせる」教育を徹底し、実社会で即戦力となる、人間性豊かな人材の育成に努め、多くの卒業生は地域の中核として活躍をしています。これも佐野短期大学の発展にご尽力くださいました、卒業生とその保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様方のご協力とご支援のたまものと感謝申し上げます。

さて、本学園を取り巻く環境は極めて厳しいものがありますが、厳しさをチャンスに切り替えるためには全教職員の英知を結集し、劇場的・表皮的・流行に惑わされず、物事の本質を見極め他との協力・協調を旨として、的確な判断力をもって皆様の信頼に応える学園の創造に邁進する覚悟であります。

本年も皆様の温かいご指導を賜りますようお願いいたします。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



### 先<sup>せん</sup>鞭<sup>べん</sup>をつける

学 長 谷 島 一 嘉

あけましておめでとうございます。

開学以来、本学も17年が経過しました。すでに新聞やテレビなどのメディアでご承知のように、最近の、特に短期大学を取り巻く環境は非常に厳しくなっております。少子化の傾向は今後も止まらず、高卒の就職は好転して優良企業に入る高卒者が増え、四年制大学の<sup>いきち</sup>閾値が下がって学生が入りやすくなり、短大希望者はますます減少しています。どうしたら本学はこの厳しい氷河期とも言える時代を乗り切ることができるのでしょうか？ どうしたら魅力ある短大として学生をひきつけることができるのでしょうか？ 自分は最低限自分の仕事だけをこなしていればよいというような教職員は本学にはもはや必要ありません。一人ひとりの教職員が真剣に、本当に一丸となって学生を確保する方策を考え、入ってきた学生に対し、しっかりと教育をしていかなければなりません。

私が着任以来言い続けてきた、「現状維持は退歩の始まり」、学科の壁を取り払おう、といった意識改革の機運が、教職員に広まりつつあることは非常に喜ばしいことではありますが、まだまだ不十分だと思います。皆様のご協力を心からお願いいたします。

昨年秋、本学園繁栄の基を築かれた池田理事長・学園長先生が理事長職を退かれ、浦田新理事長先生のもとに新しい学園執行部が誕生いたしました。浦田理事長はいきなり学園全体の死活問題に遭遇されました。学園教職員が一人ひとり、全力で理事長を支えて、学園として生き残らねばなりません。入学定員をできるだけ確保し、学生に対しては、挨拶、礼儀など節度あるしつけ、一生涯通ずる教養の基礎と、常に問題を発見し、解決する習慣、常に世界を意識し、日本だけにとらわれない発想をしっかりと身につけさせること、こんな教育ができれば、まさに本学園は世界一の学園になります。

教職員の皆さん、われわれは日本の未来を託す若者を育てているのだという誇りを持ちましょう。佐野日本大学学園の一員として、皆様の一層のご協力を切にお願い申し上げます。

## 第 4 回 読書・映像感想文コンクール入賞者

平成 19 年 10 月 19 日 (金) 第 4 回読書・映像感想文コンクールの表彰式が行われた。入賞者は下記の通りである。なお、入賞作品は、みかも館 1F の図書館掲示板に展示してある。

### 読書部門

- 最優秀賞 英米語学科 2 年 森 句美子  
(『黒衣の道化師』 *Pantaloen in Black* W. フォークナー著)
- 優 秀 賞 介護福祉専攻 2 年 杉谷 宗昭  
(『沈まぬ太陽』 山崎 豊子著)
- 介護福祉専攻 1 年 黒川 麻衣  
(『1 リットルの涙』 木藤 亜也著)
- 佳 作 介護福祉専攻 1 年 亀山 悦子  
(『笑うカイチュウ』 藤田 紘一郎著)
- 英米語学科 2 年 星野 静香  
(『黒衣の道化師』 *Pantaloen in Black* W. フォークナー著)



### 映像部門

- 最優秀賞 介護福祉専攻 1 年 大森 美佳  
(映画『明日の記憶』 荻原 浩原作、堤 幸彦監督、渡辺 謙主演)
- 優 秀 賞 介護福祉専攻 1 年 小畑 静華  
(映画『明日の記憶』 荻原 浩原作、堤 幸彦監督、渡辺 謙主演)
- 佳 作 介護福祉専攻 1 年 岡本 暁絵  
(映画『明日の記憶』 荻原 浩原作、堤 幸彦監督、渡辺 謙主演)
- 介護福祉専攻 1 年 島田 佳英  
(映画『明日の記憶』 荻原 浩原作、堤 幸彦監督、渡辺 謙主演)



# 私、頑張ってます

## 頑張ってます OB

深尾 知也

(英米語学科 平成 13 年 3 月卒業)



ラスベガス在住のロックミュージシャン Shirt in the Jupon (シャツ イン ザズボン) のアーティスト名で、アメリカラスベガスを中心にライブ活動、ロックフェス参加など活躍中。1st アルバム『Shirt in the Jupon』が、アメリカのインディーズレーベルより発売、「Las Vegas WEEKLY」のランキングにて 10 位にランクイン!

## 頑張ってます OG

関根 奈緒

(介護福祉専攻 平成 14 年 3 月卒業)



オーディション番組から CD デビュー 妹尾武氏初プロデュースアーティスト。空を見上げる花のように大きくこの手を広げて輝きたい〜つきぬける大空に張る、温かい歌声。デビューシングル『ひまわり』が、ユニバーサルミュージックより発売中。

## 頑張ってます 学生 教員

日本赤十字社 幼児安全法支援員 資格取得



小柳さん

山内准教授

松本さん

(児童福祉専攻 2 年)  
松本 悠希

(児童福祉専攻 2 年)  
小柳 真美

(児童福祉専攻 准教授)  
山内 健次

## 頑張ってます 学生 職員

平成 19 年度秋期 情報処理技術者国家試験  
経産大臣認定 初級システムアドミニストレータ合格



(経営情報科 1 年)  
高田 結花



(事務局 経営情報科 平成 16 年 3 月卒業)  
瀧川 知美

# 中野善達教授 内閣総理大臣表彰を受賞



この度、本学中野善達先生が、文部科学省の推薦を受け内閣総理大臣表彰を受賞しました。

『大学において聴覚障害教育に関する研究に尽力し、聾学校教員の養成に努めるとともに、外国の文献を紹介するなどして、聴覚障害教育の発展に寄与した。また、特殊教育学会の理事長として、研究分野の取りまとめも行い、こうした知見を文部科学省の会議において提言し、教育の充実に貢献している。』として、その功績を認められたものです。



## 短大トピックス

### ボキャブラリーコンテスト 英米語学科



11月20日(火)

### 佐野市 平成19年度 ボランティア標語 入選者 (大学生の部)

- 最優秀賞** 神永 晴香 (栄養福祉専攻 2 年)
- 優秀賞** 相田 良恵 (社会福祉専攻 1 年)  
齋藤 真理 (栄養福祉専攻 2 年)  
小松原 霞 (栄養福祉専攻 2 年)
- 佳作** 舟山 理沙 (社会福祉専攻 1 年)  
濱野 恵実 (社会福祉専攻 1 年)  
丸山 詩織 (社会福祉専攻 1 年)  
齋藤 慎一郎 (児童福祉専攻 1 年)  
恵利川 知美 (栄養福祉専攻 2 年)  
松本 華奈 (栄養福祉専攻 2 年)  
齋藤 朗 (介護福祉専攻 2 年)  
戸叶久美子 (英米語学科 1 年)

### 施設工事完了 駐車場など供用開始



本学は、佐野新都市整備事業の区域に位置し、佐野市が以前から大学用地として短大の隣接地に、用地を集めて整備を行ってきており、平成18年度には、その用地20,750㎡を佐野市から購入しました。従来から運動場用地や学生駐車場用地が不足しており、学生に不便をかけていたが、駐車場の整備も行い、平成19年度には整地も完了したので、学生におおいに活用してもらいたいと考えています。